

ふくやま♡まちづくり大学
東部地域まちづくりシンポジウム

話し合いからはじまる“ええこと”

シンポジウムの流れ

1 実践事例紹介

- ★長浜の魅力再発見 ～まちづくりミーティングの取組から～
- ★つれのうてNIGHT IN 日吉台 ～対話の文化を育てる～
- ★近所お助け隊活動開始！！～高齢で支援の必要な人のお手伝い～

2 シンポジウム

それぞれの形態のミーティングについて意見交換

地域づくりを一步前に進める取組として、8月27日に東部市民センターホールで、東部管内3学区が実施した話し合いによるまちづくりに関する取組事例の発表を行いました。

東部地域振興課が支援した長浜学区のまちづくりミーティングの取組やまちづくりサポートセンターが支援した日吉台学区のつれのうてNIGHTの取組、社会福祉協議会が支援した大谷台学区のおたがいさまミーティングの取組について紹介し、参加者約80人が話し合いの場づくりへのヒントを学びました。

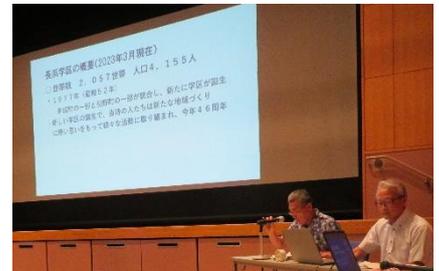
◎実践事例紹介

★長浜の魅力再発見 ～まちづくりミーティングの取組から～

【長浜学区まちづくり推進委員会】

委員長 関本英治さん 副委員長 池田和司さん
委員 荒木一夫さん

子どもたちの意見をまちづくりに取り込むため、小中学生にも参加してもらった。改めて長浜の良さや課題を見つめ、再確認することができた。出された意見を集約し、今年度から新たな取り組みを始めている。



★つれのうてNIGHT IN 日吉台 ～対話の文化を育てる～

【日吉台交流館・福山市まちづくりサポートセンター】

交流館長 小畑和正さん センター長 中尾 圭さん
まちづくりサポートセンターで行っているつれのうてNIGHTの地域版。決まったメンバーで話し合うのではなく、学区内外の人が集まって対話をしながらお互いを認め合うこと、そのことによって信頼関係が築くことができると感じている。



★近所お助け隊活動開始！！～高齢で支援の必要な人のお手伝い～

【大谷台学区近所お助け隊】

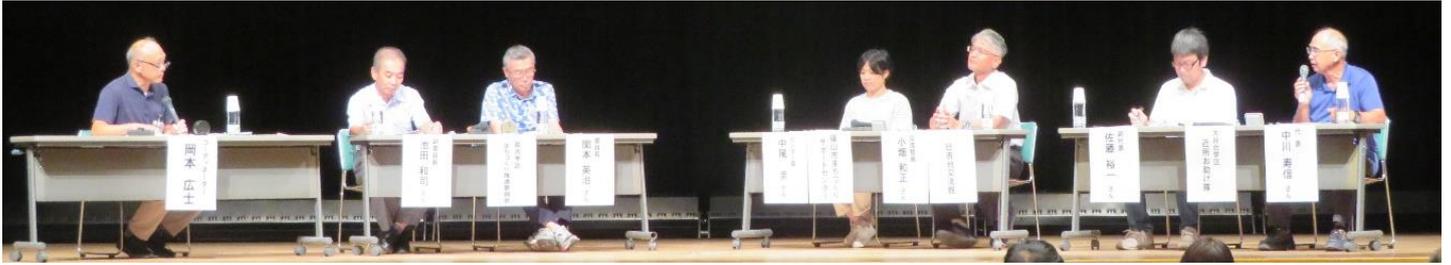
代表 中川寿信さん 副代表 佐藤裕一さん

大谷台学区は地域が高齢化しているという現状があり、お互いさまミーティングの中で、今の地域に何が必要かを話し合い、地域の中での助け合い活動を事業化したことを発表。



◎シンポジウム

コーディネーター 東部地域振興課 岡本広士



コーディネーターから、やってみて感じたことについての質問に「継続性が大事で、これから積みあげて、形にしていきたい」「意見が多くあることがわかり、一つ一つ解決していけば、地域課題の解決につながるのではないかと思う」「町内会加入が増えることにつながればと思い立ち上げられてよかった」「40代でもボランティアができるやり方を提案できた」との回答でした。

意見交換の場では、会場から「担い手の確保をどのような手段で行っているのか」「若者を地域活動に参加してもらうにはどのような取組をしているのか」等の発言があり、活発な意見が交わされました。

最後にコーディネーターから、「コロナ禍で地域活動が停止したため、気持ちを寄せ合う価値観や企画実施のノウハウなどが失われたという声を多く聞いた。アフターコロナで行事を再開するにあたり、様々な話し合いの手法は新たなスタートラインにとっても大切な役割を担う。今日の事例紹介がそれぞれの学区の参考になれば幸いに思う。」とまとめがありました。

【アンケートより】

- ・地域（学区）の課題に対して話し合う時期にきていると感じた。
- ・動き出したい住民の方がどの学区にもいて、きっかけがあれば始まっていくということを知ることができた。
- ・学区を『何とかしたい』という思いはあるので、今日の話聞いて、まず課題は何か、どんな町づくりができるのかをしっかりと話し合うことが大切だと言う事を学んだ。いろんな世代が集まりしっかりと話し合うことで前が見えてくると感じた。
- ・幅広い年代層がオープンに話し合える場づくり。学区に合った方法を検討する必要がある。
- ・地域課題をあきらめずに人や機関とつながることによってあらたな手法により前に進まれていることを知り、大変良い機会をいただいた。今後の活動もぜひお聞きしたい。



【問合せ先】

東部地域振興課

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メールアドレス：toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp